

日付：2025年 9月 5日（金）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	倒産15%増、今年最多／「美容室」の倒産、3年連続増加 過去最多について	日経35／ 帝国データ 法人・採用・個人事業主	- 東京商工リサーチによると、2025年8月の東京都の企業倒産件数(負債額1000万円以上)は165件で前年同月比15%増、今年最多であった。3カ月連続で前年を上回り、負債総額は411億4200万円と2.7倍に膨らんだ。 - 産業別では建設業が2.4倍の26件と急増。10月の最低賃金1226円への引き上げが小規模企業に負担となる懸念が指摘されている。 - また、2025年1-8月に発生した美容業(美容室)経営業者の倒産は157件で、2年連続で過去最多を更新する可能性が高い。美容資材等の高騰だけでなく、低賃金と長時間労働の改善を求める既存スタッフの流出が加速するなど人材不足が大きな要因となっている。	■ 中小法人やオーナーの話題として活用 ■ 保険を活用した「経営」のお手伝いを訴求 ■ 法人契約の確認や訴求まで
2	明治安田「AI秘書」指示待たず営業提案助言について	日経17 生命保険・ニュース	- 明治安田生命は2025年中に社員約4万7000人が利用できるAIエージェント「MYパレット」を導入する。営業職員約3万7000人には24年10月までに導入済みで、顧客の趣味や健康情報に基づき提案書や案内文を自動作成する。 - アクセンチュアと共同開発し、29年度までに300人のAI人材を育成、投資額は約300億円である。AIは業務を先回りして支援し、営業の質向上と効率化を図る。	■ 保険会社の話題として活用 ■ 自社の健全性や他社との違い、優位性等を説明等 ■ 自社の保障の優位性やポイントを説明し、保障の訴求へ
3	PM2.5成分の炭素粒子に急性心筋梗塞のリスクについて	日経38 特定の病気・医療保障	- 熊本大と国立環境研究所らは、PM2.5に含まれるブラックカーボンが急性心筋梗塞リスクを高める可能性を発表した。 17年4月～19年12月に7都道府県で取得したPM2.5濃度と、40歳以上の急性心筋梗塞入院症例約4万4千件を解析した。PM2.5の年平均濃度は11.5μg/m³、ブラックカーボンは0.2μg/m³であった。濃度が7.9μg/m³上昇すると心筋梗塞患者数は2.4%増加した。	■ 特定の病気(とくに心筋梗塞系)話題として活用 ■ 特定の病気に対する備えの確認とニード喚起から、保障の最新化・最適化
4	自転車のながらスマホ、即反則金1万2000円 26年度からについて	日経39 自転車保険・損害保険	- 警察庁は自転車の交通反則切符(青切符)制度を2026年4月1日に開始するにあたり、取り締まり基本方針を公表した。 - 対象は16歳以上で、安全面に問題がある113行為を違反とする。原則は警告対応だが、重大事故につながる行為は即座に反則金を科す。ながら運転は1万2000円、自転車制動装置不良は5000円、遮断踏切立ち入りは7000円と明示された。信号無視など他車に危険を及ぼす行為や、警告後の再違反も青切符の対象となる。	■ 損害保険(特に自転車保険)の話題として活用 ■ お子さまがいる場合は、お子さまの保障も確認

市況情報※

日経平均/前日比	28,892.69/	-	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.500%
TOPIX	2,001.18/	-	国債(5年)/前日差	-0.075%/
ダウ平均	35,819.56/	-	国債(10年)	0.095%/
上海総合指数	3,547.34/	-	米国債(10年)	1.558%/
ドル円	113.60-61	-	中国国債(10年)	2.969%/

今日は何の日

- ・計画と実行の日⇒「計画と実行」を理念に事業支援を行う株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズが制定。日付は計画(Planning)の計の字が9画であり、実行(Execution)の英字のExecutionの頭文字Eがアルファベットの5番目であること、同社の設立日が2001年9月5日であることから
- ・ライトニング・マッキーンデー
- ・クリーンコールドー(石炭の日)

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：探究心あふれる、作家タイプの人

長所
・創造力がある
・応用力がある
・打たれ強い

短所
・同時進行ができない
・ルーチンワークが苦手
・金遣いが荒い

誕生花：コスモス
花言葉：乙女の真心・調和・謙虚

誕生日カラー
橙色



詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：倒産が止まらない！？最新の倒産事情をまとめてみました！（2025.9.5）

1. 業種別

No	日にち	記事	内容	参照URL
1	2025年 9月5日 (金)	帝国 データバンク 美容室の倒産、3年連続で 増加 過去最多へ 「美容師」不足に直面	2025年1～8月の美容室倒産（負債1,000万円以上、法的整理）は157件で、前年同期の139件を上回り3年連続増加となり、通年でも年間最多更新の可能性が高い。 - 背景には、大手や低価格店の参入による競争激化、資材・光熱費・テナント料などのコスト高、人手不足がある。特にフリーランス化で有力美容師の採用が難しく、既存スタッフの流出も加速した。 - 人手不足を直接要因とする倒産は9件で、すでに前年通年に並んだ。2024年度業績は消費回復で増益企業もある一方、約3割が赤字、減益は26.0%で3年連続増加し、業況は二極化している。都市部では割引競争も発生し、値上げと付加価値提供の戦略転換が重要課題である。	
4	2025年 4月17日 (木)	東京商工 リサーチ 「介護事業者」倒産 過去最多の179件 前年度から3割増	- 東京商工リサーチは16日、2024年度の介護事業者の倒産が179件に上ったと発表した。前の年度から48件増え、比較可能な00年度以降で最多となった。 24年度の介護報酬改定で基本報酬を引き下げた訪問介護が約半数を占めた。人手不足や光熱費の高騰も引き続き経営を圧迫する要因となっている。	
	2025年 4月5日 (土)	東京商工 リサーチ 2024年度 「経営コンサルタント」の倒産 過去最多	2024年度（速報）の経営コンサルタント業の倒産が151件（前期比3.4%増）に達した。 「経営のプロ」のはずのコンサルタントだが、事業再生やDX支援、M&Aなど、専門領域の分散化と顧客ニーズが高度化し、最近のコンサルは差別化と専門性が求められている。資料集めや情報の整理などはAIに取って代われ、単純な手続き代行や財務指導など、過去の経験則だけで生き抜くことは難しいようだ。 - 経営コンサルタントの倒産は、原因別では販売不振や赤字累積などの「不況型倒産」が100件（構成比66.2%）で、7割近くを占めた。	
	2025年 3月6日 (木)	帝国 データバンク 「喫茶店」の倒産急増、 過去最多ペース	- 街の喫茶店で倒産が急増している。2024年度に発生した「喫茶店（カフェ）」の倒産（負債1000万円以上）は、2月までに66件発生した。前年度から1.5倍に急増した23年度通年を上回るペースで推移しており、年度累計でも2018年度（73件）を上回る可能性。 - 背景には原料の高騰がある。また、コーヒー豆以外にも電気・ガス代、アルバイトなどの人件費といったコストに加え、都市部ではテナント料なども上昇しており、喫茶店のコスト環境は厳しさを増している。	